

各種目専門部指導者紹介



野村 綾子

専門部名 ソフトボール
勤務校 県立浦和東高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
キャンプ、旅行・実践人でありつづけること



長谷川 輝

専門部名 ソフトテニス
勤務校 県立春日部高校
担当教科 地歴・公民
趣味・人生観等
散歩



高橋 直之

専門部名 陸上競技（投擲）
勤務校 県立進修館高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
DIY・「明るく楽しく前向きに生きていく事」



野川 義則

専門部名 陸上競技（投擲）
勤務校 川口市立高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
魚釣り・いつも笑顔で！



櫻井 悠乃

専門部名 バドミントン
勤務校 県立誠和福祉高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
生徒達には笑いの絶えない人生を送ってほしい！“笑福来門”



谷口 勇太

専門部名 バドミントン
勤務校 県立川口北高校
担当教科 数学
趣味・人生観等
ボードゲーム・「両葉去らずんば斧柯を用うるに至る。」



岡安 智弘

専門部名 柔道
勤務校 県立所沢中央高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
スポーツ観戦



柳澤 裕司

専門部名 ラグビー
勤務校 県立川越高校
担当教科 英語
趣味・人生観等
読書・情熱

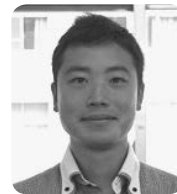
研究部活動報告

研究部部长



榎浦 岳人
(伊奈学園総合高等学校長)

研究部委員長



津田 孝弘
(岩槻高等学校)

研究部活動報告ならびに今後の展望

委員長 津田 孝弘

1 第1回委員会

期 日 5月29日(水曜) 14:00
会 場 県立武道館第一・第二会議室
内 容 ・令和5年度事業・決算報告
・役員改選
・令和6年度事業計画、予算審議
・各分科会協議・報告
・令和6年度全国高体連研究大会について

2 第2回委員会

期 日 7月5日(金曜) 14:00
会 場 県立武道館第一・第二会議室
内 容 ・委員長より
・各分科会協議・報告

3 第3回委員会

期 日 10月29日(火曜) 14:00
会 場 スポーツ総合センター
内 容 ・委員長より
・各分科会協議・報告

4 第4回委員会

期 日 12月9日(月曜) 15:00
会 場 スポーツ総合センター
内 容 ・委員長より
・各分科会協議・報告

5 高体連加盟高校部員数入力作業

期 日 11月22日(月曜)
会 場 埼玉県高体連事務局 14:30
※昨年度より、データ処理をマクロ化、大幅に時間短縮
作業:津田(岩槻)

6 県保健体育研究協議会打ち合わせ

期 日 1月14日(火曜)
会 場 オンライン 14:00~
内 容 ・役員分担
・係ごと打ち合わせ

7 令和6年度県保健体育研究協議会

期 日 1月29日(水曜)
会 場 オンライン 13:00~

その他の活動

◎関東高体連研究部委員長会議

期 日 7月18日(木曜) 14:00
会 場 ホテルザノットヨコハマ
内 容 ・各都県の活動・近況報告
・その他

◎全国高体連研究大会実行委員会

(1)第1回実行委員会・総会14:00~

期 日 4月30日(火曜)
会 場 プラザウエスト

(2)第1回運営代表者会

期 日 7月17日(水曜) 14:00~
会 場 RaiBoC Hall
(さいたま市民会館おおみや)

(3)第2回運営代表者会

期 日 9月17日(火曜) 15:00~
会 場 RaiBoC Hall
(さいたま市民会館おおみや)

(4)第3回運営代表者会および第1回運営委員会

期 日 10月18日(金曜) 13:30~
会 場 RaiBoC Hall
(さいたま市民会館おおみや)

(5)第4回運営代表者会および第2回運営委員会

期 日 12月18日(水曜)14:00~

会 場 RaiBoC Hall

(さいたま市民会館おおみや)

(6)全国高体連研究部委員会・会議

期 日 1月15日(水曜)15:00~

会 場 RaiBoC Hall

(さいたま市民会館おおみや)

(7)全国高体連研究大会

期 日 1月16、17日(木曜、金曜)

会 場 RaiBoC Hall

(さいたま市民会館おおみや)

(8)第5回運営代表者会

期 日 2月18日(火曜)

会 場 オンライン開催(予定)

(9)第2回実行委員会・総会

期 日・会 場 未 定

今年度はいよいよ、埼玉での全国高等学校体育連盟研究大会開催の年となった。「Innovation~運動部活動の未来を拓く~」を大会主題とし、本県役員を含め450人が来場し、大盛況のまま幕を閉じた。埼玉県からは第1分科会において、大宮開成高等学校、大友堅詞先生が「部活動指導員および外部指導者のニーズと現状」というテーマで発表した。この発表が見事優秀発表として認められ、表彰されることとなった。これまでの調査・研究が認められた証でもある。

今大会運営に際し、全国高体連研究部をはじめ、多くの方々の御支援・御協力をいただき、滞りなく大会を行うことができました。心より感謝申し上げます。そして何より、運営に携わっていただいた県内運営委員の皆様、また業務を取り仕切っていただいた運営代表者の方々には、心からの感謝をお伝えしたいと思います。ありがとうございました。全国高体連研究大会の開催を機に、本県の高体連研究部への関心が高まり、より発展した活動ができるようになることを期待し、願っている。

今年度の研究部の活動では、昨年度から引き続き、継続的で多面的な研究、専門部の枠にとらわれない研究を行うため、研究部委員を三分野のグループに分け、研究を進めている。第1分科会の「競技力向上」では、各専門部委員長に依頼し、各部活動全顧問を対象にアンケー

ト調査を行い、部活動指導員および外部指導者に関する各校顧問のニーズと現状について調査・分析を行い、今年度は全国高体連研究大会において発表した。第2分科会の「健康と安全」では、事故予防・対策マニュアルの作成を進めている。第3分科会の「部活動の活性化」では、部活動名から探す高校案内(仮称)の作成を計画している。

部活動の変革が求められている昨今、部活動のデメリットが表に出ることが多く、メリットに関するエビデンスが示されることはあまりなく、その数も少ない。理由として部活動のメリットは在学中に示されるものばかりではなく、数字や目に見えるものとして示されるものばかりではないことが挙げられる。この体制の中で、デメリットだけでなく、メリットに関するエビデンスとして示していけることを狙いとした変革である。各専門部委員長に御協力をお願いしているところである。令和7年度も第1分科会では引き続き、各専門部全顧問へのアンケートを実施、その他の分科会についても調査を行っていく。調査の依頼があった際には、多くの方々に御協力いただけるようお願い申し上げます。

定 通 部

定通部部长



恵賀正治
(上尾高等学校長)

定通部副部长



齊藤洋平
(熊谷高等学校教頭)

東部地区副部长

折原 裕朋 (春日部高等学校副校長)

南部地区副部长

金田 智 (戸田翔陽高等学校教頭)

西部地区副部长

諸橋 郁哉 (飯能高等学校教頭)

令和6年度のまとめ

筆頭副部长 齊藤 洋平

令和6年度高体連定通部は、上尾高等学校 恵賀正治校長が定通部長、4名の副校長・教頭が副部長を務め、児玉 賢一委員長(浦和高等学校)を中心とする役員が主体となり各種体育・スポーツ大会等の運営に当たりました。

今年度も、各会場で生徒達のはつらつとした手に汗握る全力プレーを垣間見るとともに、対戦相手をリスペクトする態度や、競技ができることへの感謝の気持ちを大切にされた姿が見られ、大変胸が熱くなりました。生徒の日々の努力に心から賞賛を送るとともに、競技力の向上だけでなく、豊かな人間性の育成にも熱心に御指導いただいている顧問の先生方や関係者の方々に深く感謝を申し上げます。

定通部の活動は、例年、主要な大会は次の2つであり、①及び②の大会が開催されました。

① 埼玉県高等学校定時制通信制総合体育大会兼全国高等学校定時制通信制体育大会埼玉県予選会
(5月～7月)

※ 全国高等学校定時制通信制体育大会
(7月下旬～8月下旬)

② 県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部
(9月～11月)

※ 全国大会上位入賞者による教育長表敬訪問
(2月3日)

なお、新人大大会が(1月～2月)に予定されています。

開催に当たりましては、埼玉県定時制及び通信制教育振興会からの多大なる支援を受けるとともに、県教育委員会と県高等学校体育連盟の御指導、また高体連定通部事務局や各競技専門委員長の献身的な大会運営、各学校顧問の先生方の協力により、多くの成果を収めることが

できたことに、改めて御礼申し上げます。

以下に定通部の活動内容と大会の結果を報告します。

1 会議

(1) 第1回高体連定通部役員会・定通部会

・期日 5月1日(水) 於: 県立上尾高等学校

(2) 第2回高体連定通部役員会

・期日 9月6日(金) 於: スポーツ総合センター

(3) 第3回高体連定通部役員会

・期日 12月6日(金) 於: 県立上尾高等学校

2 競技会

(1) 埼玉県高等学校定時制通信制総合体育大会兼全国高等学校定時制通信制体育大会県予選会

・期日 令和6年5月19日(日)～7月6日(土)

・会場 上尾運動公園陸上競技場 他

(2) 全国高等学校定時制通信制体育大会

・期日 令和6年7月23日(火)～8月16日(金)

・会場 駒沢オリンピック公園総合運動場 他

(3) 県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部

・期日 令和6年9月15日(日)～11月9日(土)

・会場 上尾運動公園陸上競技場 他

3 各専門委員会の競技成績及び所感

ア 陸上競技

(ア) 期間 8月13日(火)～8月15日(木)

(イ) 会場 駒沢オリンピック公園陸上競技場

(ウ) 成績

(男子)

200m 平岡(吹上秋桜) 7位 23秒83

400m サラー(春日部) 7位 54秒19

800m 春日(狭山緑陽) 7位 2分5秒92

走高跳 相澤(星槎国際大宮) 6位 1m68

4 × 100mR 埼玉県選抜

(新井—平岡—サラ—高沢) 7位 47秒06

4 × 400mR 埼玉県選抜

(サラ—春日—高橋—金子) 6位 3分50秒42

〈女子〉

100m 堀内(星槎国際大宮) 7位 14秒38

200m 堀内(星槎国際大宮) 7位 30秒59

走高跳 小林(クラークさいたま) 5位 1m30

4 × 100mR 埼玉選抜

(榎本—堀内—本橋—小林) 6位 58秒58

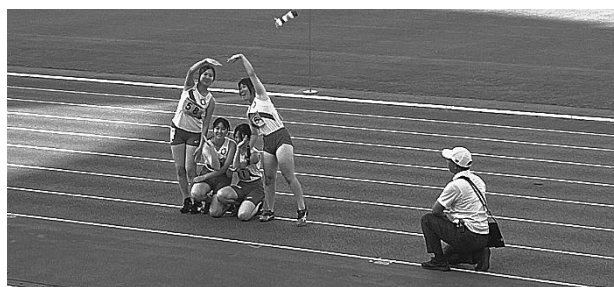
6月の定通総体兼全国定通大会県予選会は、猛暑の中で競技が行われたが、体調不良者は出ることがなかった。本大会は、競技日程に余裕を持たせる、長距離種目で給水所を設けるなどの工夫を行なったのはもちろん、各校・各選手が十分な感染症対策、熱中症予防をしてくれたため、大きな事故・怪我もなく、無事に大会を終えられた。

今年度は、数年前に比べて特に出場校が減ったように感じた。我が国全体の陸上競技の競技人口は年々増えているものの、定通陸上は全国規模で減っているとのことだった。出場校が少ない中、出場選手自身が競技運営に協力してくれたが、定通陸上を盛り上げるため、もう少し出場校が増えてくれたらと感じる。総合成績では、男子は狭山緑陽、女子は西武学館が優勝を果たした。

7月下旬に、全国定通大会に向けた結団式と合同強化練習会を行った。結団式では埼玉県選手団の団長と副団長を決め、全国大会への意気込みを語った。その後の強化練習会では、団長・副団長を中心にアップを行い、種目別に分かれて練習を行った。リレー選手団では、昨年の反省を生かし、バトンパス、ルールを改めて確認した。選手主体で選手団全体を動かしたことで、一人ひとりの親睦が深まったように感じた。

8月の全国定通大会は、駒沢オリンピック公園陸上競技場で行われ、10種目で選手が入賞を果たすことができた。選手たちはそれぞれ努力の成果を発揮し、多くが県予選の記録を上回ることができた。男子4 × 100mリレーでは7位入賞、男子4 × 400mリレーでは6位入賞、女子4 × 100mリレーでは6位と、それぞれ健闘し見事に入賞を獲得した。

10月の県民総体は、6月に比べて少ない参加状況であった。当大会は各校顧問のみで運営をしなければならない大会であり、出場校が少なく、ぎりぎりの大会運営であったものの、選手の活躍する舞台を整えることができた。総合成績では、男子は狭山緑陽、女子は西武学館が優勝を果たした。



全国大会 女子4 × 100mR 決勝 スタート前



全国大会 男子200m 決勝 平岡(吹上秋桜)

(専門委員長 大浦 巧 飯能高等学校)

イ 軟式野球

(ア) 期間 8月13日(火)～8月17日(土)

(イ) 会場 明治神宮野球場 他

(ウ) 成績

埼玉県立大宮中央高校(通) ベスト8進出

2回戦 9-2 長野県松本筑摩高校(長野県)

3回戦 1-8 精華学園高校(広島県)

【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】

今年度の全国予選会は、10チームが出場した。各校が健闘する中で、特に存在感を見せたのは、昨年度に全国大会ベスト8という成績を残した大宮中央高校(通)だった。新人戦こそ敗退したものの、県大会は投打で圧倒する形になった。初戦では、好投手を擁するクラーク所沢に14-0で勝利する。次戦では、過去に全国大会へ出場したことがある、強豪の大川学園に7-0で勝利した。決勝戦は、3大会連続で、大宮中央高校(通)対日々輝学園となった。日々輝学園は持ち前の打力を発揮し、県大会で無失点を続けてきた大宮中央高校(通)から2得点する。しかし、大宮中央高校の打線爆発により、最終的に12-2で大宮中央高校(通)が優勝し、2年連続で全国大会出場を決めた。

【第71回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会】

2年連続で全国大会出場となった大宮中央高校(通)は、初戦で長野県代表の松本筑摩高校と対戦した。大宮中央高校(通)は、県大会で見せた打力を発揮し、7安打を放って9得点すると、守りでは、3投手の継投で7回2失点とし、9-2で初戦を突破した。次戦は、広島

県代表の精華学園高校とベスト4を懸けての試合となった。大宮中央高校（通）は、精華学園の猛攻により、初回到に2点を先制される。反撃したい大宮中央高校（通）だったが、精華学園エースの130キロ近い速球と鋭く曲がる変化球に対し、3安打1得点という結果に終わり、1-8で敗戦となった。決勝戦は東京都代表の大智学園と、奈良県代表の天理高校という対戦カードとなり、天理高校が2年ぶり19回目の全国制覇を達成した。

【第37回県民総合スポーツ大会】

今年度の県民総合スポーツ大会は12チームが出場した。定通総体と同様に、シード権を持つ4校がベスト4に進出した。決勝進出を懸けた準決勝第1試合は、大宮中央高校（通）と清和学園高校の対戦となった。大宮中央高校（通）は、打力で圧倒し8-0とする。試合は大宮中央高校（通）が優勢のまま進むと思われたが、清和学園高校が脅威の粘りを見せ、8-6とする。清和学園高校に追い詰められた大宮中央高校（通）だったが、エースの粘投により8-6で勝利した。準決勝第二試合は、日々輝学園高校と大川学園高校の対戦となった。大川学園高校は3回に9得点し、試合を決定づけたかと思われたが、4回以降に日々輝学園高校が連打を見せ、7得点する。日々輝学園高校は、最後まで得意の打力を発揮し続けたが、最終的には9-7で大川学園高校が勝利した。準決勝は2試合ともに、大差から僅差になるという試合展開となり、最後まで諦めない選手達の強い気持ちを感じた試合となった。

決勝戦は、大宮中央高校（通）と大川学園高校の対戦となった。大宮中央高校（通）は連打により、5回終了時で6-0とリードする。大川学園は7回に1点を返すものの、大宮中央高校（通）の投手陣が好投し、7-1で大宮中央高校（通）が勝利した。昨年の定通総体から、県大会は4回連続で大宮中央高校（通）が優勝する形となった。全国大会でベスト8という成績を残した大宮中央高校（通）が、県大会ではその実力を発揮した。

大会運営に携わっていただいた方々のご協力により、今年度も無事に大会を終えることができた。心より感謝申し上げる次第である。



（専門委員長 木村 一章 大宮中央高等学校（通））

ウ ソフトテニス・テニス

【埼玉県定通総体および全国定通総体県予選】

埼玉県定通総体は、6月9日に開催された。全国大会へと繋がるソフトテニスは、リーグ戦の後、上位6ペアによる決勝トーナメントを実施した。男子は、今尾・野本（羽生）、女子は、須永・松島（清和学園）が優勝した。全国大会個人戦のメンバーとして、男女各上位4ペアが選出され、団体戦のメンバーとしては、個人戦上位ペアや敗退したものの実力が認められた男女各8名が選出された。テニスは、ダブルスの部男子は、橋本・仙波（松栄学園）、女子は、新井・土田（吹上秋桜）が優勝し、シングルの部男子は、仙波（松栄学園）、女子は、新井（吹上秋桜）が優勝した。

【全国定通総体】

今年度の定通総体は、8月4日～6日にかけて有明テニスの森公園（東京）で開催された。初日は、ショーコートで出場選手が一同に揃うかたちでの開会式を実施することができた。2日目の団体戦は、男子が例年とは異なり、ハードコートでの実施となった。最終戦のファイナルゲームまでもつれる接戦となったが、福岡県に競り負け初戦敗退となった。女子団体は初戦となる2回戦、奈良県との試合、男子同様最終戦のファイナルゲームまでもつれる接戦の中、粘り強さを発揮し、勝利することができた。3回戦で岐阜県に敗れたが、ベスト8という好成績を残すことができた。3日目の個人戦には男女各4ペアが出場し、男子は、1ペアが初戦敗退、2ペアが2回戦敗退となるも、吉野・吉田（狭山緑陽）が3回戦まで進出することができた。女子は、1ペアが初戦敗退、3ペアが2回戦敗退という結果となった。

昨年度と比べると成績を落としてしまったが、各生徒の力が存分に発揮された大会であったと思う。また、生徒の保護者や友人が応援に来ており、各校の顧問の先生の指導をはじめとする多くの方々の支えを感じることができた大会となった。

【県民総合スポーツ大会】

県民総合スポーツ大会は、10月13日に大宮第二公園テニスコートで実施された。3年生の出場が減った中で、男子11ペア、女子8ペアの出場があった。ソフトテニスの男子は、吉田・鈴木（大川学園）、女子は、坂本・河住（大川学園）が優勝した。テニスでは、ダブルスの部男子は、田口・大野（吹上秋桜）、女子は、新井・土田（吹上秋桜）が優勝し、シングルの部男子は、橋本（松栄学園）、女子は、草浦（クラークさいたま）が優勝した。3年生が少なくなったこともあり、出場ペア数の減少が課題となっている。しかし、出場ペアはみな上位

を目指して全力でプレーしており、次に繋がる大会になったと感じている。



(専門委員長 小野 京斗 大川学園高等学校)



(専門委員長 河合 憲司 羽生高等学校)

エ 卓球競技

【春の定通総体の状況】

男子個人戦56名参加 女子個人戦14名参加

男子団体戦 8校参加 女子団体戦 1校参加

上尾運動公園体育館で2日間競技が行われた。男女ともに個人戦4名ずつ、団体戦1チームずつが出場権を得て、7月23日～25日に駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場で行われる全国大会に出場した。

結果は、谷津琴音さん(大宮中央高校通信制)が、女子個人戦で全国優勝を遂げた。出場した他の選手も全国の強者を相手によく健闘した。

【秋の県民スポーツ大会の状況】

男子個人戦54名参加 女子個人戦16名参加

男子団体戦 5校参加 女子団体戦 1校参加

上尾運動公園体育館で2日間競技が行われた。

男女ともに熱戦が繰り広げられ、女子団体はクラーク記念国際所沢高校、男子団体は戸田翔陽高校が優勝した。女子個人戦は、青木菜々華(大宮中央高校通信制)、男子個人戦は遠藤雷蔵(武蔵野星城高校)が優勝を勝ち取った。参加者全員グッドプレゼンテーションに基づき、お互いを尊重した試合が行われていた。

オ 柔道

【定時制通信制総合体育大会埼玉県予選会】

今年度も、昨年度と同様に埼玉県立戸田翔陽高等学校で5月25日(土)に開催することになった。

男子65kg級では、小門龍仁選手(吹上秋桜)が田中志音選手(吹上秋桜)に合わせ技で勝ち優勝した。男子75kg級は、戸島琉夢(戸田翔陽)のみ、男子90kg超級は、鬼塚真郷選手(日々輝学園)のみだったため、二人とも各階級において不戦勝で優勝となった。女子52kg級では、牟田穂乃夏選手(吹上秋桜)が水戸部桜実選手(戸田翔陽)に背負投で勝って優勝した。女子63kg級では、八田彩佳選手(戸田翔陽)が榎本結莉奈選手(戸田翔陽)に合わせ技で、滝沢志月選手(吹上秋桜)に大内刈で、それぞれ勝利して優勝し、榎本選手が滝沢選手に優勢勝ちして準優勝し、滝沢選手が第3位となった。また、女子団体戦では、戸田翔陽が吹上秋桜に3勝して優勝した。男子団体戦は、吹上秋桜が不戦勝で優勝した。

女子63kg超級の増田愛華選手(大宮中央(通信))は、諸事情によりこの大会に出場登録をすることができなかったが、同じ階級の他の生徒の出場登録がなかったため、協議の結果、全国大会への出場を認めた。

【第55回全国高等学校定時制通信制柔道大会】

全国大会は、今年度も例年通り講道館で8月4日

(日)に開催された。

個人戦は、男子75kg級の戸島選手が大会直前のケガのために欠場した。65kg級の小門選手は、内股で1回戦を勝利したが、2回戦に絞め技で敗北した。90kg超級の鬼塚選手は、1回戦で合わせ技によって敗退した。女子52kg級の牟田選手は、1回戦で延長に突入する長い試合を戦ったが、合わせ技で惜しくも敗北、水戸部選手も合わせ技で負け、1回戦敗退となった。女子63kg級の八田選手は、1回戦で肩固めによって抑え込まれて敗北し、榎本選手も体落で負け、1回戦敗退となった。63kg超級の増田選手は、袈裟固めや合わせ技で勝ち上がり決勝に進出した。決勝戦は、相手の内股によって敗れしまったが、見事、準優勝となった。

男子団体戦は、ケガで欠場した戸島選手を除いて、小門選手、田中選手、鬼塚選手の3名で試合に臨んだ。1回戦は3名とも勝利したが、2回戦で全員が負けとなり、敗退となった。女子団体戦は、牟田選手、八田選手、増田選手で臨み、1回戦で増田選手が勝利したが、牟田選手と八田選手が負けとなり、1回戦敗退となった。ほとんどの選手が1回戦で負けてしまったが、まだ一、二年生なので、敗北を糧に更なる成長を期待したい。



(専門委員長 木村 朋行 戸田翔陽高等学校)

カ 剣道

(ア) 期間 8月5日(月)

(イ) 会場 日本武道館

(ウ) 成績

〈男子団体戦〉埼玉県選抜 ベスト8

予選リーグ 1勝1分

2(4)―2(4) 熊本県

5(9)―0(1) 兵庫県B

決勝トーナメント

準々決勝 1(2)―3(6) 東京都A

〈女子団体戦〉埼玉県選抜 リーグ戦敗退

予選リーグ 0勝3敗

1(2)―2(3) 神奈川県A

1(2)―2(4) 山口県

1(2)―2(2) 大阪府

〈男子個人戦〉

横堀 大基(大川学園) 3回戦敗退

梅原 誠斗(霞ヶ関) 2回戦敗退

川島 旺輝(霞ヶ関) 3回戦敗退

門脇 悠斗(大川学園) 1回戦敗退

〈女子個人戦〉

花澤 真緒(霞ヶ関) ベスト8

宮島 舞子(大宮中央通信) 2回戦敗退

栗原 杏奈(大宮中央単定) ベスト16

高山 莉珠(霞ヶ関) 2回戦敗退

全日制剣道部やさまざまな先生方の協力を得て、全国大会前に4回の強化練習会を行った。

男子団体は、昨年引き続き入賞を目指し選手たちが一致団結し、試合に向かう姿が見られた。選手たちは気迫ある試合を展開したが、入賞に一歩及ばず、ベスト8という結果となった。

女子団体においては、近年入賞が続いており、今年も入賞かつ優勝という気持ちをもって挑んだが、予選リーグ敗退となった。

選手たちは一生懸命取り組んだが、全国大会へ初出場の選手ばかりで、会場の雰囲気にもまれてしまった部分があった。今年度は、全体的に悔しい思いをした部分もあったが、全国大会という大舞台上、一生懸命頑張る姿が随所でみられた。来年度は、男女ともに入賞を目標に、各校の顧問の先生方と連携・協力し、部員の確保と剣道の理念に基づいた人間形成の育成に努めていきたい。



(専門委員長 伯耆田 茜 羽生高等学校)

キ バレーボール競技

(ア) 期間 7月30日(火)～8月3日(土)

(イ) 会場 ひらつかサン・ライフアリーナ

トッケイセキュリティ平塚総合体育館

(ウ) 成績

〈男子〉戸田翔陽 ベスト4 (第3位)

予選グループ戦 2-0 米子東 (島根)

決勝トーナメント

1回戦 2-1 くまもと中央 (熊本)

2回戦 2-0 相模向陽館 (神奈川)

3回戦 2-1 中央 (大阪)

準決勝 0-2 横浜修悠館横須賀 (神奈川)

〈女子〉吹上秋桜 準優勝

予選グループ戦 2-0 学悠館 (栃木)

決勝トーナメント

1回戦 2-0 那覇商業 (沖縄)

2回戦 2-0 ひびき (福岡)

3回戦 2-0 浅草 (東京)

準決勝 2-1 TBC宇都宮 (栃木)

決勝 1-2 天理 (奈良)

【全国大会予選】

本年度の全国定通大会予選は、男子は3チーム参加のリーグ戦形式で、戸田翔陽が優勝し、県代表の座を勝ち取った。女子は4チームの参加申し込みだったので、トーナメント形式で行い、吹上秋桜が優勝した。戸田翔陽男子は13年連続13回目、吹上秋桜女子は4年連続4回目の大会出場となった。

【全国大会】

今年度も昨年度に続き、予選グループ戦と決勝トーナメントが実施された。

男子は、予選グループ戦で島根県代表の米子東高校と対戦し、2-0で勝利し、決勝トーナメントへ駒を進めた。決勝トーナメントでは、フルセットの試合が何度かあったが、なんとか最終日まで勝ち残り、昨年度の優勝校である横浜修悠館横須賀高校に2セット目をデュースまで持ち込み、力を出し尽くすことができた。結果としては、準決勝で敗退したが、3位という過去50回の大会で、初めての成績となった。

女子は、予選グループ戦で栃木県の学悠館高校と対戦した。吹上秋桜が2-0で勝利し、決勝トーナメント進出を決めた。決勝トーナメントでは2回戦目の福岡県のひびき高校が昨年度の3位の学校で第3シードであったが、なんとか勝利し、続いて東京1位の浅草高校にも勝利し、最終日を迎えた。TBC宇都宮は、4年連続で準優勝している強豪であったが、フルセットの熱戦の末、勝利した。決勝は天理高校で、昨年度のリベンジを最高の舞台でできると思ったが、最後の最後で逆転され、フルセットの末敗れてしまった。悔しさは残るが、準優勝

という成績は過去最高であり、選手たちは満足そうな顔をしていた。来年の更なる飛躍を期待したい。

【県民総合スポーツ大会】

男女とも2チームの参加で、戸田翔陽高校と吹上秋桜高校の男女が出場した。女子は、全国大会で準優勝となった吹上秋桜が、危なげなく勝利し優勝した。男子は、吹上秋桜が第1セットを先取したが、全国大会のメンバーが多く残る戸田翔陽が、地力の強さをみせ、2セット目、3セット目を連取した。お互いのチームが3年生を除いた形で戦ったが、白熱した戦いとなった。次の新人大会はより成長した選手たちが活躍することを期待したい。



(専門委員長 岡本 直哉 吹上秋桜高等学校)

ク サッカー

【埼玉県定通総体兼全国定通大会埼玉県予選会】

5月26日～6月16日にかけて開催された。3つある全国大会出場枠をかけて、県内8チームが参加した。ベスト4に残ったのは、日々輝学園、狭山緑陽、クラークさいたま、大宮中央(通信・単定合同)の4校であった。そのうち、日々輝学園と大宮中央の2チームが決勝に進出し、全国大会への出場を決めた。最後の1枠を巡り、狭山緑陽とクラークさいたまが対決した。序盤から流れをつかんだ狭山緑陽が5対0で勝利した。決勝戦では、大宮中央が1対0で勝利し、県優勝校となった。

【全国高等学校定時制通信制体育大会】

8月2日から6日にかけて静岡県で開催された。

狭山緑陽は大阪1位の長尾谷と対戦し、互角の戦いではあったが、0対1で初戦敗退となった。日々輝学園は、

神奈川2位の日々輝学園横浜と対戦し、0対1で惜しくも敗退となった。大宮中央は、大阪2位の桃谷（合同）と対戦し、2対0で1回戦を突破した。2回戦は静岡2位の浜松大平台と対戦し、5対0で勝利した。準々決勝では、福岡代表の博多青松と対戦し、PK戦の末、勝利した。準決勝では、神奈川1位の相模向陽館と対戦し、0対3で敗退したが、全国大会3位に入賞した。

【県民総合スポーツ大会】

9月22日から10月13日にかけて開催された。

今大会では、計8チームが参加し、1枠の関東地区大会出場枠を争った。日々輝学園、狭山緑陽、大宮中央といった全国大会出場組が順当に勝利した。一方、浦和・飯能合同チームがクラークさいたまを4対2と、打ち合いを制し、ベスト4へ駒を進めた。準決勝では、日々輝学園が5得点、大宮中央が6得点と圧倒的な差を見せて決勝へ進んだ。決勝戦は、大宮中央の諸事情により、不戦敗となった関係で、日々輝学園が埼玉代表校として、11月30日と12月1日に行われる関東地区高等学校定時制通信制サッカー大会に出場予定である。

今年度は、大宮中央の台頭があり、過去3年間変化のなかった4強が変わったことで、各校に緊張と上昇志向が芽生えるといったよい効果が見受けられた。

一方、今年度は人数不足による不戦敗が2回発生した。他にも11名に満たない出場校も増えてきている。このような状況から、持続的な大会運営の方法を模索していく必要がある。



(専門委員長 足立 広輔 大宮工業高等学校)

ケ バスケットボール

1. 令和6年度全国大会埼玉県予選

今大会は、コロナ対策等は行わず数年ぶりに大勢の保護者の方々の応援がある中で、非常に良い雰囲気で大勢で行うことができた。また、今年度から男子の全国大会出場枠が1つ増え、各チームの気合を感じられた。

【男子】

優勝 狭山緑陽
準優勝 越ヶ谷
3位 春日部
松栄学園

【女子】

優勝 合同
準優勝 狭山緑陽
3位 戸田翔陽
松栄学園

～全国大会結果～

【男子①】狭山緑陽高校

1、2試合の接戦ゲームを勝上がり、準々決勝まで進んだ。対戦校は東京都代表（東京2）浅草高校。第1クォーターで相手選手の豊富な運動量に走り負けてしまい、14-26とリードを許し、その後も流れを変えることができず、11-31、19-22、14-26最終スコア58-105で敗れたが、ベスト8の成績を収めた。

【男子②】越ヶ谷高校

初戦の対戦校は静岡県代表浜名高校。選手たちは初の大舞台に緊張しており、落ち着かない様子だったが試合が始まると、いつも通りの賑やかさが戻ってきた。しかし、第1クォーター、相手のスピード、高さ、フィジカルの強さに圧倒され、12-0のビハインドで始まった。盛り上げながら残りのクォーターを戦い、追い上げはしたが、最終スコア56-36で敗れた。

【女子】合同（朝霞、春日部、わせがく夢育、浦和一女）

初戦の対戦校は沖縄県代表泊高校。初の大舞台に選手たちは緊張した様子であったが、生徒間でコミュニケーションを取り、良い雰囲気で行うことができていた。練習した戦術がうまくいくなど、ゲームを通して声掛けを絶やさずチームがまとまっていたが、最終スコアは44-55で敗退。勝利することはできなかったが、選手たちはとても良い経験ができた。





2. 令和6年度県民総合スポーツ大会

全国予選と同様に実施し、保護者の方々が観戦する賑やかな会場の中で、無事、大会を行うことができた。

【男子】

優勝 春日部
準優勝 狭山緑陽
3位 川口市立
松栄学園

【女子】

優勝 狭山緑陽
準優勝 合同
3位 戸田翔陽
松栄学園
(専門委員長 竹内 勇祐 大宮工業高等学校)

コ バドミントン

1. 全国高等学校定時制通信制バドミントン大会

埼玉県予選

(ア) 期間：6月2日(日)・9日(日)

(イ) 会場：埼玉県立戸田翔陽高等学校
埼玉県立狭山緑陽高等学校

(ウ) 成績

<男子シングルス>

第1位 崔 世航(戸田翔陽)
第2位 佐原 快飛(武蔵野星城)
第3位 押田 黎斗(武蔵野星城)
第4位 稲見幸太郎(大宮中央単定)

<女子シングルス>

第1位 高橋妃菜花(大宮中央単定)
第2位 小山 美桜(大宮中央単通)
第3位 渡邊 朱里(大宮中央単定)
第4位 カンテラス ユリアン(狭山緑陽)

※ダブルス：実施せず

2. 第26回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会

(ア) 期間：7月29日(月)～8月1日(木)

(イ) 会場：小田原アリーナ

(ウ) 成績

<男子>

団体戦：ベスト16

個人戦：崔 世航(戸田翔陽) 2回戦敗退

佐原 快飛(武蔵野星城) 1回戦敗退

<女子>

団体戦：3位

個人戦：高橋妃菜花(大宮中央単定) 優勝

小山 美桜(大宮中央単通) 1回戦敗退

渡邊 朱里(大宮中央単定) 2回戦敗退

3. 第36回県民総合スポーツ大会

(ア) 期間：9月29日(日)・10月6日(日)

(イ) 会場：埼玉県立戸田翔陽高等学校
埼玉県立狭山緑陽高等学校

(ウ) 成績

<男子シングルス>

第1位 崔 世航(戸田翔陽)
第2位 近藤 汰風(わせがく夢育)
第3位 坂井心太郎(大宮中央通信)
稲見幸太郎(大宮中央単定)

<女子シングルス>

第1位 高橋妃菜花(大宮中央単定)
第2位 コログル ヤムル(川口市立)
第3位 白井 音羽(清和学園)
長尾 麻央(久喜)

<男子ダブルス>

第1位 崔 世航・吉崎 光雪(戸田翔陽)
第2位 久本 宇翔・大野 颯太(小川)
第3位 押田 黎斗・遠藤 英人(武蔵野星城)
田中 宙太・五木田頼慶(大宮中央単定)

<女子ダブルス>

第1位 カンテラス ユリアン・濱野 結愛(狭山緑陽)
第2位 佐藤 光雪・阿部 真子(戸田翔陽)
第3位 コログル ヤムル・工藤 仁彩(川口市立)
曳地 美希・杉村 麻衣(武蔵野星城)

4. 所感

全国大会では、女子個人戦優勝、女子団体3位などすばらしい結果を残すことができた。

今年度も、昨年度に続き大会参加者数が増加しており、今後の盛り上がり期待したい。



全国大会男子団体(奥が埼玉代表)



全国大会女子団体
(専門委員長 柳沢 瑠壺 狭山緑陽高校)

3 教育長表敬訪問

(1) 訪問日 令和7年2月3日(月)

(2) 表敬訪問予定生徒

【優勝】

- ・バドミントン 女子個人戦
高橋 妃葉香(大宮中央(単定))
- ・卓球 女子個人戦
谷津 琴音(大宮中央(通))

【準優勝】

- ・バレーボール 女子
吹上秋桜高校 阿部 愛心
- ・柔道 女子個人戦
増田 愛華(大宮中央(通))

【第3位】

- ・サッカー
大宮中央高校(通・単定合同)
磯貝 煌生(通)
白木 隼(単定)
- ・バドミントン 女子団体戦
県選抜チーム
高橋 妃葉香(大宮中央(単定))
渡邊 朱里(大宮中央(単定))
曳地 美希(武蔵野星城)

結びに定通高体連の益々の発展と、今回このような教育長表敬訪問という機会を与えていただいた県教育委員会並びに各関係機関の皆様の御配慮に心から感謝申し上げます。

(定通部筆頭副部長 齊藤 洋平)